

事業団職員大募集

「私たちと一緒に働きませんか」

▶ 現在募集中

正規職員 看護師



嘱託職員

嘱託体育指導員、嘱託栄養士、嘱託調理員、生活支援員補助（夜勤専従）、介護補助、プール監視員、調理補助



お問い合わせ先

社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団
 総務部総務課 採用担当
 〒467-8622 名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2
 電話番号 052-835-3811

最新の募集情報、待遇等の詳細は事業団ウェブサイトをご参照ください。

事業団ウェブサイト <http://www.nagoya-rehab.or.jp>



事業団公式Twitter

名古屋市総合リハビリテーション事業団@公式 ➡ @nagoya_rehab

事業所案内

・名古屋市総合リハビリテーションセンター

・福祉スポーツセンター

・障害者就労支援センター めいりは

〒467-8622

名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2

電話：052-835-3811 FAX：052-835-3745

・瑞穂区障害者基幹相談支援センター

・地域活動支援センター つきみがおか

〒467-0035 名古屋市瑞穂区弥富町月見ヶ岡5

NTT西日本八事ビル1階

電話：052-835-3848 FAX：052-835-3743

なごや福祉用具プラザ

〒466-0015

名古屋市昭和区御器所通三丁目12-1

御器所ステーションビル3F

電話：052-851-0051 FAX：052-851-0056

名古屋市障害者スポーツセンター

〒465-0055

名古屋市名東区勢子坊二丁目1501番地

電話：052-703-6633 FAX：052-704-8370

季刊

社会福祉法人
名古屋市総合リハビリテーション事業団

オレンジロード

ORANGE ROAD

2019年
夏号
vol.21



事業団公式マスコットキャラクター
リはみん

INDEX

- ◆ 第3次経営戦略計画の成果指標（平成30年度実績）
- ◆ 令和元年度事業計画の概要
- ◆ 社会貢献活動
リはみんサロン（居場所・サロン事業）
（2、3月報告・令和元年度計画）
- ◆ 第16回名古屋市障害者スポーツ大会
- ◆ イベント情報
- ◆ 募集・事業所案内

発行：季刊オレンジロード編集委員会



第3次経営戦略計画 成果指標 (平成30年度実績)



第3次経営戦略計画の経営戦略目標に基づき、成果指標と年度別到達目標を定め、取り組みを実施します。
名古屋市の障害者施策推進の一翼を担う中核施設として、適切に状況を捉え、常に利用者の立場に立った事業を推進していきます。

基軸	経営戦略目標	成果指標	年度別到達目標			取り組み内容
			30年度目標	30年度実績	元年度目標	
公共サービスの充実	1 利用者の意向を尊重し、利用者の可能性を最大限に発揮でき、必要なときに必要なサービスを受けられるよう、ライフステージに応じた支援を行います。	利用者満足度				<ul style="list-style-type: none"> ● 地域への移行、地域生活・社会生活の維持が円滑にできるよう、地域に向けた助言・啓発・研修など地域の関係機関等との連携を強化するとともに、相談支援機能を充実させるため法人内の連携を推進します。 ● リハセンターの潜在的な対象者がリハセンターを利用できるよう、他の医療機関、施設等からの利用経路を確立します。 ● 職業的自立と社会参加を図るため、ハローワーク等の関係機関と連携し職場開拓を行い、就労後の職場定着の支援を強化します。また、職業的課題を抱える障害者に対し、関係機関と連携し相談支援を一体的に行います。 ● 障害者や高齢者、地域住民の方が気軽に参加できるプログラムを充実し、スポーツ活動の機会の提供を行います。 ● 東京2020年パラリンピックに向け、障害者スポーツを身近なものとして捉えてもらえるよう、地域のスポーツ施設と連携しながら、地域における障害者スポーツの普及・啓発を行います。 ● 地域ネットワークづくり、福祉用具の製作・改造、IT(情報技術)支援を担う、テクノエイドセンター機能を充実します。 ● 当法人の提供するサービスの質を数的に評価する重要な指標として満足度調査を実施し、利用者とその家族の意向を尊重するサービスの提供に努めます。 ● リハセンターの専門性、蓄積されたノウハウを活かし、地域での支援者となるべき専門職の育成のみならず、障害のある方やその家族、一般市民向けの研修会・講習会を開催します。 ● 日頃の業務に関連する研究などを奨励し、研究に取り組みやすい職場風土づくりを推進します。 ● 研究機関、企業など外部機関等との共同での取り組みを推進します。 ● リハビリテーション研究基金を活用してのリハビリテーション技術の研究開発を推進します。 ● 事業団公式ウェブサイトなどを通じ、法人及び法人が運営する事業の機能・取り組みについて適時情報発信し、市民への広報活動を強化します。
		附属病院(入院)	90%以上	93.8%	90%以上	
		障害者支援施設	90%以上	93.0%	90%以上	
		福祉スポーツセンター	90%以上	98.3%	90%以上	
		障害者スポーツセンター	90%以上	93.8%	90%以上	
		地域活動支援センター	90%以上	89.0%	90%以上	
		なごや福祉用具プラザ	90%以上	99.7%	90%以上	
	西部リハビリテーション事業所 ※H29年度末事業廃止	—	—	—		
	就労支援センター相談支援件数(年間)	3,600件	5,400件	3,600件		
	なごや福祉用具プラザ相談件数(年間)	12,000件	13,220件	12,000件		
2 新たなニーズや、ニーズの変化を機敏に把握し、先駆的、先進的な事業に取り組むとともに、関係機関との密接な連携を促進し、相互の機能向上並びに、地域の障害者リハビリテーションや障害者サービスの充実を図り、情報発信、コーディネート等の中核的役割を果たします。	地域貢献活動・啓発事業など講習会等実施件数(年間)	35件	39件	35件		
	講師派遣・講演件数	150件	200件	150件		
	基幹相談支援センター地域関連機関とのケア会議等の件数(年間)	120件	135件	130件		
	事業団公式ウェブサイト等のインターネット広報による情報発信件数(月間)	10件	14.7件	10件		
3 研究・開発の促進及び人材育成の観点から、部門間連携による研究・開発、他研究機関等との共同研究などの一層の推進に取り組みます。	学会発表数	40題	36題	40題		
	外部機関と共同で行った取り組み件数(年間)	5件	24件	5件		
財務内容の改善・向上	4 経費対効果を常に念頭に置き、制度改正等に即応した収入の確保や、経費の節減に努めます。	利用率				<ul style="list-style-type: none"> ● 医療・介護・福祉の各制度の内容を把握し、的確な運用に努めます。 ● 入院時のリハビリテーションにおける提供単位数の拡充に努めます。 ● 利用者のニーズに即した効率的な施設の管理運営に努めます。 ● 業務統計システムの運用により、常に運営・稼働状況を把握し、法人経営の効率化、合理化に努めます。 ● 利用者に安心・安全で快適に施設をご利用いただけるよう、施設・設備の効果的な改善に努めます。 ● 利用者に安心・安全で快適に施設をご利用いただけるよう、名古屋市と連携しながら、施設・設備の効果的な改善に努めます。
		入院病床	90%	91.1%	90%	
		通所リハビリテーション	83%	82.8%	83%	
		自立支援入所	85%	76.7%	85%	
	自立支援日中活動	90%以上	97.7%	90%以上		
	入院患者1人あたりの疾患別リハビリテーション単位数(1日あたり)	4.5	4.57	4.5		
	福祉スポーツセンター利用者数(1日あたり)	150人	155.5人	150人		
	障害者スポーツセンター利用者数(1日あたり)	480人	431.5人	410人 ※修繕工事による休館考慮		
5 利用者にとって安心・安全で、快適な環境を提供するため、リスクマネジメント等の確立に取り組み適正な法人運営、施設運営を行います。	設備面に関する利用者満足度	90%以上	89.9%	90%以上		
	3 研究・開発の促進及び人材育成の観点から、部門間連携による研究・開発、他研究機関等との共同研究などの一層の推進に取り組みます。(再掲)	学会発表数(再掲)	40題	36題	40題	
外部機関と共同で行った取り組み件数(年間)(再掲)		5件	24件	5件		
6 総合的な人材育成計画に基づいて、高い専門性とモチベーションを有する人間力豊かな人材を育成します。		自己啓発支援制度を利用した研修参加数(年間)	80件	124件	80件	
	職員が企画運営する内部研修数(年間)	70件	83件	70件		

令和元年度事業計画の概要

(※決定時、平成31年度とされていたものを令和元年度に変更)

令和元年度の事業計画が、3月25日に開催されました理事会にて決定されました。
今年度の事業計画は、以下のような事項を重点として取り組むこととしています。

1 経営戦略計画の着実な推進、組織体制の再編・強化

令和元年度は第3次経営戦略計画の3年間の取りまとめ年度となることから、計画全体の達成に向けて引き続き努力してまいります。また、現経営戦略計画の達成状況や国・名古屋市等の施策の動向を踏まえ、第4次経営戦略計画を策定します。

2 人材確保と人材育成、労働環境整備(働き方改革対応)

質の高いサービスを提供し続けるために、積極的な採用広報や採用試験方法の工夫により職員の確保に取り組むとともに、人材育成計画に基づく高い専門性・人間性を有する職員の育成に努めます。

また、平成31年4月より実施された「働き方改革」の趣旨に則し、業務の一層の効率化を推進し、労働環境の適正化・改善に努めます。

3 広報および研究活動の推進

事業団においては、引き続きウェブサイトやTwitter、広報誌、公式キャラクター「りはみん」のグッズ等を活用し、情報発信力を強化するとともに広報を支えるマネジメント機能の整備を図り、分かりやすい広報を推進します。

また、研究活動においては、リハビリテーション研究基金による研究・業務関連研究を活用し、さらなる調査・研究の推進に取り組みます。

4 障害者スポーツ振興体制の拡充

東京2020年オリンピック・パラリンピック競技大会等を控え、事業団においては名古屋市から新たに委託を受け、障害者スポーツセンターにおける障害者スポーツ振興体制を強化し、名古屋域における障害者スポーツの裾野の拡充および支援の質の向上を目指します。

5 介護ロボットの活用推進等

ア 介護ロボット等活用推進事業の開始

介護・福祉分野の長年の課題である介護人材不足や負担軽減に対応するため、介護ロボットの現場での活用を目指し、名古屋市から「介護ロボット等活用推進事業」を受託し、なごや福祉用具プラザにおいて相談対応・普及啓発・導入効果検証等を実施します。

イ 福祉用具に関する訪問相談(アウトリーチ事業)の開始

なごや福祉用具プラザにおいて、作業療法士等の専門職による個人宅への訪問相談(アウトリーチ事業)を新たに始めます。

6 障害者基幹相談支援センター事業・地域活動支援センター事業

第2期の事業受託期間が始まる「障害者基幹相談支援センター・地域活動支援センター」について、関係機関や関係部署との連携を強化し、障害者を地域で支える体制の構築を推進します。

7 就労定着支援・自立生活援助の本格実施

事業団においては平成30年12月より就労定着支援や自立生活援助を開始しました。就労定着支援については、職員を増員し、引き続き障害者の就労継続を支えます。また、自立生活援助についても、職員体制を強化し、障害者の地域生活の継続を支えます。

8 大規模工事

障害者スポーツセンターにおいて、給水給湯管改修工事および多目的更衣室改修工事を実施いたします。

居場所・サロン事業開催報告

2月開催



平成31年2月26日(火)「あ！危ない！危険に気付いて能力UP！」を開催しました。

今回は「高齢者事故の予防」を目的に作業療法科と共同にて実施しました。内容は75歳以上で免許を更新する際に必要な認知機能検査の体験や、認知症予防のコグニサイズの紹介と体験、KYT(危険予知トレーニング)のグループワークを実施しました。

最初は、近年の高齢者事故などのデータを見ていただきながらの講義であったこともあり、真剣に話を聞かれていましたが、その後の認知機能検査体験やコグニサイズといった体験形式のものになってからは、とても和気あいあいとした雰囲気になりました。

3月開催



平成31年3月12日(火)に「大人の社会科学見学～リハビリセンターを覗いてみよう！～」を開催しました。

居場所・サロン事業でのリハビリセンター見学会は今回で3回目となります。今回はセンター見学に加え、生活支援課の訓練メニューの一つである革細工の体験、新しくなったラウンジアビーでの茶話会の三つの企画を用意しました。

当日の参加者は21名で、参加者の方々は興味深そうに見学・体験をされていました。

今回の見学を通じて「リハビリセンター」が地域の方にとって身近に感じていただけるような場所になれば幸いです。

「あ！危ない！危険に気付いて能力UP！」

「大人の社会科学見学～リハビリセンターを覗いてみよう！～」

今年度の予定は下記のとおりです。

開催予定日	企画内容(予定)
6月 4日	大人の趣味講座～折り紙にチャレンジ！～
7月 2日	いつでもおいしく食べるために
8月 6日	介護保険の豆知識
9月 3日	生活に役立つ身近な福祉用具
10月 1日	医師による感染症対策講座
11月 12日	看護部市民公開講座
12月 未定	頭とからだ元気シリーズ①
令和2年 1月 7日	頭とからだ元気シリーズ②
2月 4日	頭とからだ元気シリーズ③
3月 3日	リハビリセンター見学会

令和元年度より「居場所・サロン事業」は名前を「りはみんサロン」に改め、引き続き地域の方向けにさまざまな企画を開催していきます。

第16回名古屋市障害者スポーツ大会 (陸上競技・フライングディスクの部)

令和元年5月5日(日)

パロマ瑞穂スタジアムで第16回
名古屋市障害者スポーツ大会を
開催しました。



はち丸パークの様子

今回の大会には、陸上競技に344名、フライングディスクに235名の参加があり、選手全員がスピード、力、技を競い合いました。

この大会は今年の10月に茨城県で開催予定の第19回全国障害者スポーツ大会の選手選考も兼ねた大会ということもあり、参加された選手の皆様は日ごろの練習、トレーニングの成果を発揮するため気合の入った様子で自分の競技を待っている様子が印象的でした。

河村名古屋市長の挨拶から始まった大会を盛り上げたのは参加選手だけでなく、名古屋市のマスコット「はち丸」「だなも」、瑞穂区のマスコット「みずほっぺ」、天白区のマスコット「かぼっち」も応援に駆け付け、大会を大いに盛り上げてくれました。



フライングディスクの様子

競技以外では、障害者スポーツの普及・発展を目的として、障害者スポーツ体験コーナー「はち丸パーク」を開設しました。

はち丸パークは、オリンピック・パラリンピック等経済界協議会の協力もあり、車いすレーサー試乗体験、ボッチャや車いすバスケットボール、ブラインドサッカー体験、サウンドテーブルテニスなどの障害者スポーツ体験に加え、

スーパーボールすくい、お楽しみのお引きなどを行いました。地域の親子や、子どもたちの参加が多く、初めての体験に興味津々で取り組んでいる姿が印象的でした。

この大会は選手のみならず、介助者や保護者、地域の方々にも楽しんでいただけるものとなり、笑顔があふれる大会となりました。



名古屋市マスコット



名古屋市障害者スポーツ大会 (ボッチャの部 プレ大会)

日時：令和元年6月16日(日)

サウンドテーブルテニス (STT) 審判講習会

日時：令和元年8月18日(日)

第16回名古屋市障害者スポーツ大会 (水泳の部)

日時：令和元年8月25日(日)

場所、対象者、申込方法等の詳細は事業団ウェブサイトまたは下記問い合わせ先へ。

◎問い合わせ：名古屋市障害者スポーツセンター

電話：052-703-6633 FAX：052-704-8370

上記の他、大会情報は随時事業団ウェブサイトに掲載しますので、ぜひご覧ください。



●前期家族介護者教室

対象者：介護に関心のある方。

名古屋市内北部・東部・西部・南部・中部で実施。各4回。



◆東部介護者教室 テーマ：介護の準備学 場所：名古屋市障害者スポーツセンター 定員：40名

①6/13(木) ご存知ですか？介護保険申請のタイミング

②6/20(木) アロマセラピーでハンドマッサージ ～心と身体のケア～

③6/27(木) 介護の費用と年金 ～老後と遺族の年金って？～



◆北部介護者教室 テーマ：中高年から気をつけたい体のこと 場所：名古屋市総合社会福祉会館 定員：40名

①6/15(土) 聞こえのお悩み、つきあい方あれこれ

②7/6(土) 高齢者に多い誤嚥性肺炎 ～誤嚥防止法～

③7/13(土) 足ゆびストレッチ&筋トレ ～生涯自分の足で歩くために～

日時、場所、申込方法等の詳細は事業団ウェブサイトまたは下記問い合わせ先へ。

◎問い合わせ：なごや福祉用具プラザ 電話：052-851-0051 FAX：052-851-0056